＜発行＞　教育遺産世界遺産登録推進協議会

協議会活動報告
第一回 近世日本の教育遺産群サポーター学習会

日時：令和6年8月18日(日)
場所：水戸市役所2階こみっとルーム
　　備前市役所5-1会議室
　　ZOOMでのオンライン配信
内容：①世界遺産と日本遺産について
　　②教育遺産世界遺産登録推進協議会
　　の活動内容について

←学習会の様子　八月十八日

八月十八日(日)、記念すべき第一回目の教育遺産群サポーター学習会が行われました。

水戸会場の水戸市役所二階市民協働会議室（こみっとルーム）には、水戸市に登録したサポーターの方々だけではなく、他市からも足を運んでいただいた他、各市の会場やオンラインで参加いただきました。講義は二つのテーマに分け、それぞれ四〇分程受講されました。

①世界遺産と日本遺産について

「世界遺産」という言葉自体にはすごく馴染みがありますが、目的は何なのか、仕組みはどのようなのか、日本にはどのくらいあるのか、等、言われてみれば知らない事も多いと思います。

また、平成二十七年度に文化庁が設立し、教育遺産群が認定ストーリー第一号となった「日本遺産」はどのようなものなのか、世界遺産との違いは？等、詳しい解説が行われました。

②教育遺産世界遺産登録推進協議会の活動内容について

今年の四月から募集が開始した「近世日本の教育遺産群サポーター」の方々に、是非とも教育遺産世界遺産登録推進協議会（以下：「当協議会」）の活動内容を知っていただきたく、当協議会の成り立ち、多岐にわたる活動内容や目標等を説明しました。

今後、サポーターの皆様と協議会が一丸となって活動していく上で貴重な相互理解の場となったと思います。

次回は十一月に開催予定。テーマは①水戸市の構成文化財について　②足利市の構成文化財について、と、今回と同じく二本立てです。今回は基礎知識となるような内容でしたが、次回からは、いよいよ各市の教育遺産の解説を行っていきます！

事務局から

今年（令和六年）四月から募集開始した「近世日本の教育遺産群サポーター」ですが、募集開始直後から強く感じていた、サポーターの皆様の歴史愛・史跡愛・郷土愛を、どうにか形にして発信したい、との思いでこの新聞の発行に至りました。これからも事務局共々楽しみにしております。

令和６年７月撮影
弘道館の火灯窓

INFORMATIONS

詳しくは各市HPへ！

【水戸市】
第57回　水戸の萩まつり
【日程】9月7日(土)～
【場所】偕楽園

【足利市】
こども釋奠
【日程】9月23日(月・休)
【場所】足利学校

【備前市】
釈菜　※日本遺産構成文化財
【日程】10月26日(土)
【場所】閑谷学校
【備考】参加費2,500円

【日田市】
日田市公開講座
【日程】複数回開催
【場所】日田市役所7階大会議室等

NEWS!「教育遺産群通信」始まる

教育遺産群通信

ごあいさつ

私たち**教育遺産世界遺産登録推進協議会**は、**弘道館・偕楽園**（茨城県水戸市）、**足利学校**（栃木県足利市）、**閑谷学校**（岡山県備前市）、**咸宜園・豆田町**（大分県日田市）の「**近世日本の教育遺産群**」が所在する四市で構成している協議会です。近世日本の教育遺産群は、平成二十七年に**日本遺産ストーリー第一号**に認定されました。そして、これらの素晴らしい資産を**世界遺産**にすべく活動しています。

この度、我々協議会の活動に賛同していただいた**教育遺産群サポーター**の皆様と一緒に、「**教育遺産群通信**」という新聞を発行する運びとなりました。サポーターの方々と一丸となり、この新聞を通じて**近世日本の教育遺産群**を広く知っていただけるよう、尽力してまいります。

教育遺産世界遺産登録推進協議会会長
水戸市長
高橋　靖

Webサイト

サポーターの声
「嬉しいニュース」

今年二月、「大日本史編纂記録」が新たに水戸市指定文化財に指定されたとの報道に接しました。水戸藩の一大プロジェクトである大日本史の編纂過程を知ることができる資料として、貴重なものであるとのことです。

茨城県発行の『茨城県史料　近世思想編』には、この大日本史編纂記録の一部を翻刻活字化したものが採録されていて、読みやすくなっています。修史事業にかける彰考館員たちの情熱が随所に感じられて、大日本史自体に対する解像度がグッと高まりました。大日本史は日本遺産「近世日本の教育遺産群」の構成文化財にもなっていますし、サポーターとしても嬉しいニュースでした。

（木の市）

「大日本史編纂記録」

サポーターの声
「今度は娘と」

地元弘道館には、季節ごとにお邪魔していますが、足利学校や閑谷学校にも行ったことがあります。

ずいぶん前になりますが、閑谷学校に行った時には、隣の施設で世界遺産のシンポジウムが開催されていました。今度は、その後誕生した娘とも訪れてみたいですね。（M.F）

写真：閑谷学校（岡山県備前市）

「近世日本の教育遺産群サポーター」とは？

世界でも稀にみる教育先進国だった、近世の日本。今にも残るその遺産たちの魅力発信や、世界遺産登録推進事業の補助をしています。年会費無料。まだまだメンバー募集中！ぜひお友達をお誘いください。

詳しくはこちら→

「近世日本の教育遺産群」について

日本最大規模の藩校「弘道館」、またその社会教育施設「偕楽園」 そして、現存する日本最古の学校「足利学校」、日本初の庶民のための学校「閑谷学校」、日本最大規模の私塾「咸宜園」で構成されており、平成27年度には日本遺産認定第1号となりました。

当時、世界を驚かせた高い識字率や礼儀正しさに貢献した多様な学びの場を「教育遺産群」として、世界遺産登録を目指しています。